

# ウオダス 漁海況速報 No.1457

発行日 平成 17 年 12 月 26 日 <http://www.applenet.jp/aosui/>  
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778  
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

1月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## ○大型クラゲ情報

(来遊が依然継続しています。)

## ○透明度について

**小泊** (12月21~25日)  
(取りまとめ中)

**下前** (12月1~25日)  
(取りまとめ中)

**鰺ヶ沢** (12月20日追加分)

ハタハタ	底建網	1隻	8kg
(143kg)	刺網	3隻	135kg
タイ	底建網	14隻	489kg
(495kg)	刺網	1隻	6kg
ワラサ	底建網	8隻	43kg
フクラゲ	底建網	2隻	8kg
サバ	底建網	1隻	12kg
マアジ	底建網	4隻	93kg
ヤリイカ	底建網	21隻	526kg
(550kg)	刺網	1隻	24kg

(12月21~25日)

ハタハタ	建網	27隻	14,752kg
(16,602kg)	刺網	15隻	1,832kg
	底建網	1隻	18kg
タイ	底建網	23隻	523kg
(3,301kg)	刺網	1隻	12kg
	底曳網	1隻	2,642kg
	建網	1隻	125kg
ワラサ	底建網	8隻	20kg
ヤリイカ	底建網	37隻	737kg
(835kg)	刺網	6隻	86kg
	底曳網	1隻	6kg
	建網	2隻	5kg
スルメイカ	底曳網	2隻	588kg
サバ	底曳網	1隻	6kg
マアジ	底建網	1隻	12kg
ウスメバル	底曳網	1隻	17kg
マダラ	底曳網	3隻	17,741kg
アブラツノザメ	底曳網	4隻	782kg

**三厩** (12月21~25日)  
(取りまとめ中)

**平館** (12月16~20日)  
定置網 99隻

サバ	1,349kg
タイ	238kg
スルメイカ	7,242kg
ヤリイカ	1,029kg

(12月21~25日)  
定置網 80隻

マイワシ	157kg
サバ	92kg
マアジ	135kg
タイ	42kg
スルメイカ	1,430kg
ヤリイカ	1,110kg

**大戸瀬** (12月16~20日)

タイ	定置網 8隻	98kg
(3,127kg)	底建網 135隻	3,029kg
ブリ	定置網 21隻	434kg
(802kg)	底建網 60隻	368kg
ヤリイカ	定置網 15隻	29kg
(989kg)	底建網 147隻	960kg
サケ	定置網 27隻	2,221kg
(2,384kg)	底建網 4隻	163kg
マス	定置網 5隻	8kg
(8 kg)	底建網 1隻	1kg
サバ	定置網 1隻	1kg
(136 kg)	底建網 12隻	135kg
タラ	定置網 1隻	4kg

(12月21~25日)

タイ	定置網 9隻	26kg
(3,143kg)	底建網 162隻	3,116kg
ブリ	定置網 10隻	158kg
(433kg)	底建網 41隻	276kg
ヤリイカ	定置網 20隻	48kg
(1,228kg)	底建網 181隻	1,180kg
サケ	定置網 29隻	687kg
(831 kg)	底建網 8隻	144kg
マス	定置網 8隻	12kg
(19 kg)	底建網 3隻	6kg
サバ	底建網 1隻	8kg

**佐井** (12月16~20日)

ヤリイカ	定置網 19隻	163kg
(178kg)	底建網 6隻	15kg
マダラ	定置網 2隻	10kg
(42kg)	底建網 3隻	32kg
アブラツノザメ	刺網 1隻	8kg
サケ	定置網 3隻	172kg
スルメイカ	定置網 5隻	275kg
(420kg)	一本釣 2隻	145kg

**大畑** (12月1~25日)  
(取りまとめ中)

**尻労** (12月16~20日)

サケ	定置網 9隻	2,175kg
メジマグロ	定置網 2隻	115kg
スルメイカ	定置網 8隻	25,850kg

(12月21~25日)

サケ	定置網 10隻	2,570kg
メジマグロ	定置網 4隻	615kg
スルメイカ	定置網 5隻	1,470kg

**深浦** (12月21~25日)

マダラ	底曳網 15隻	27,723kg
スルメイカ	底曳網 3隻	340kg
アブラツノザメ	底曳網 3隻	3,647kg

**沢辺** (12月21~25日)

ハタハタ	定置網 15隻	23,650kg
(24,056kg)	籠 10隻	406kg
マダラ	刺網 23隻	6,820kg
アブラツノザメ	刺網 7隻	65kg
メジマグロ	刺網 1隻	10kg

**八戸** (12月21~25日)

スルメイカ	一本釣 88隻	28,769kg
サケ他	定置網 25隻	15,709kg

**白糠** (11月21~25日)

サケ	定置網 25隻	23,360kg
マダラ	定置網 1隻	23kg
ヤリイカ	定置網 1隻	6kg
(18kg)	一本釣 3隻	12kg
スルメイカ	一本釣 195隻	18,115kg
タラ	一本釣 8隻	104kg
ウスメバル	一本釣 10隻	117kg

(11月26~30日)

サケ	定置網 18隻	7,350kg
マダラ	定置網 1隻	16kg
ヤリイカ	定置網 1隻	24kg
スルメイカ	一本釣 133隻	43,835kg
(45,436kg)	定置網 1隻	1,601kg
タラ	一本釣 6隻	197kg
ウスメバル	一本釣 4隻	27kg

(12月1~5日)

サケ	定置網 19隻	16,781kg
ブリ	定置網 2隻	53kg
サクラマス	定置網 1隻	2kg
ヤリイカ	定置網 1隻	12kg
(297kg)	一本釣 10隻	285kg
スルメイカ	一本釣 72隻	10,240kg
ウスメバル	一本釣 1隻	58kg

(12月6~10日)

サケ	定置網 13隻	9,683kg
ブリ	定置網 1隻	8kg
スルメイカ	定置網 1隻	472kg
(4,307kg)	一本釣 40隻	3,835kg
ヤリイカ	一本釣 27隻	1,107kg

(12月11~15日)

サケ	定置網 16隻	2,969kg
ヤリイカ	定置網 4隻	78kg
(1,299kg)	一本釣 52隻	1,221kg
スルメイカ	定置網 4隻	8,103kg
(25,328kg)	一本釣 94隻	17,225kg

(12月16~20日)

サケ	定置網 21隻	3,959kg
サクラマス	定置網 2隻	4kg
ヤリイカ	定置網 2隻	36kg
(348kg)	一本釣 6隻	312kg
スルメイカ	定置網 2隻	17,957kg
(25,057kg)	一本釣 55隻	7,100kg
ウスメバル	一本釣 1隻	18kg
タラ	定置網 1隻	4kg
(35kg)	一本釣 1隻	31kg

### 沿岸各地の水温

日本海 10℃台  
陸奥湾 6～12℃台

今期は津軽海峡、太平洋側で昇温し、平均前回差は+0.1度でした。

昨年と比べると日本海側で+0.02度、津軽海峡で-0.1度、陸奥湾で-0.7度、太平洋側で-0.2度となっています。平均昨年差は-0.3度です。

平年と比べると日本海側がやや高め、他の海域が平年並みとなり、平均平年差は-0.1度でした。

(12月21日～25日)  
津軽海峡 10～11℃台  
太平洋 7～11℃台

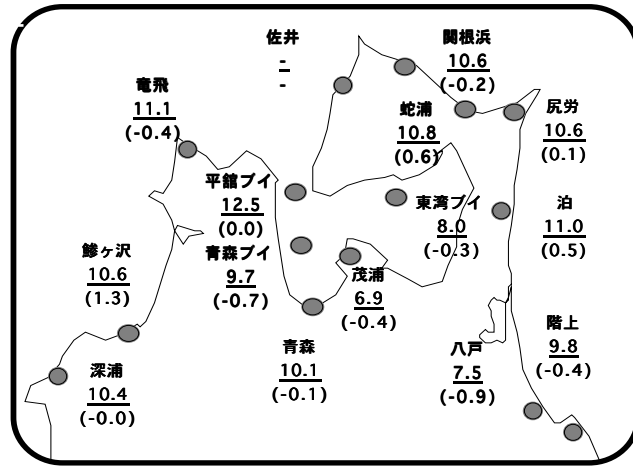


図 定地水温 (12月21～25日)  
平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	10.4	-0.0	-0.3	-1.0
鯨ヶ沢	10.6	+1.3	+0.3	+0.3
竜飛	11.1	-0.4	-1.0	-0.2
佐井	-	-	-	-
青森	10.1	-0.1	+0.0	-0.6
蛇浦	10.8	+0.6	+1.3	+1.1
関根浜	10.6	-0.2	-0.7	+0.1
尻尻	10.6	+0.1	+0.1	-0.0
泊	11.0	+0.5	+1.3	+0.7
八戸	7.5	-0.9	-1.5	+1.5
階上	9.8	-0.4	-0.8	-0.3
茂浦	6.9	-0.4	-0.7	+0.1
平館ブイ	12.5	+0.0	-0.1	-0.1
青森ブイ	9.7	-0.7	-0.9	-0.3
東湾ブイ	8.0	-0.3	-1.9	-0.4
平均	10.0	-0.1	-0.3	+0.1

### 太平洋の海況 (12月22～25日)

概況；沿岸水温は11～12℃台

- 太平洋沿岸域の表面水温 11～12℃台で、前回より低くなっています。昨年同期と比較するとわずかに低い水温となっています。
- 津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 12℃等温線でみると東経142度20分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。
- 親潮系冷水の南下 12℃等温線でみると北緯39度付近までで、張り出しは前回より強くなっています。金華山沖と釧路沖に暖水塊が見られます。

### 日本海の海況 (12月22～25日)

概況；沿岸水温は11～12℃台。

- 日本海沿岸域の表面水温 11～12℃台で、前回より低くなっています。昨年同期と比較するとわずかに低い水温となっています。

### ◎試験船情報

●試験船青鵬丸は21日、日本海においてクラゲ駆除試験を行いました。今後も駆除試験を行う予定です。

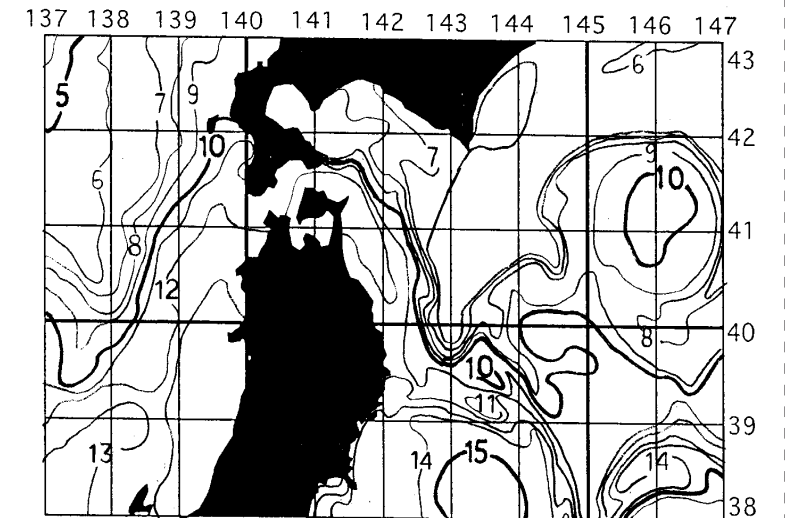
#### ●透明度について

透明度は海水の濁りの指標で、白昼に右図の透明度板という直径30センチの白色の平らな円盤を水平に水中に降ろし、上から見てこれがちょうど見えなくなる限界の深さをメートルで表すものです。観測中に透明度も測っていますが、最も古い記録は1929年4月に日本海で観測されたものでした。今までのデータを見ると、透明度の範囲は日本海側で1mから40m (平均13.6m)、太平洋側で1mから36m (平均15.5m) となっています。日本海側の透明度は4～5月に小さく、8～9月に大きくなります。4～5月は植物プランクトンが大発生する時期にあたるため透明度が小さくなり、8～9月は対馬暖流の表層水温が高い時期にあたるため透明度が大きくなるものと思われます。太平洋側では4～6月に透明度が小さくなります。これも植物プランクトンの大発生(春のブルーミング)と関係があるものと思われます。一方、透明度が大きくなる時期は8～9月と12～3月にみられます。8～9月は親潮の沖合側で、夏の最も水温の上がる時期にあたるためと考えられます。12～3月は沿岸側で、暖かい津軽暖流域で上から下まで水温が一様となる混合期にあたるためと考えられます。

数十年の長い期間にわたる変動をみると、日本海側では透明度が低くなる傾向を示しています。また、太平洋側の津軽暖流水の影響の及ぶ範囲でも透明度が低くなってきています。北太平洋の気候・海洋システムが急激に変わるレジームシフトはこの100年間に5回起きたことが報告されていますが、この中では1940年代のシフトとの対応が最もよくみられます。これはこの期を境に水温が高温期に入り、透明度も高くなったということを示していると考えられます。

### ◎大型クラゲ情報

12月12日現在の県内の大型クラゲの確認状況は右表のとおりです。他県の状況は、(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所のホームページ (<http://www.jsnf.affrc.go.jp>) をご覧ください。



資料：(社)漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況速報 第77号 12月25日

県内の状況(12月20～21日)

海域	入網状況
日本海	定置網が500～5000個体以上/統 (傘径100～200cm) 小型定置網合計が最多で3800個体 (8ヶ統) (傘径30～200cm) 沖合底びき網が200～700個体/隻 (傘径60～200cm)